

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷支援学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつぎやき～ 「心の育ちを記録する大切さ」

日々、ご家庭とのやり取りをし、子どもの様子をお伝えする連絡帳について、少しお話ししたいと思います。

私も連絡帳の読み手側の経験をした時期があります。帰宅後のあわただしい時間の中で目を通すわけですが、先生によって書き方が違うのを感じていました。「今日は〇〇をしました。」という「**したことの記述の連続**」だけの時は「ふ～ん」と読み流すことが多いのですが、「気になったこと、感じたこと、嬉しかったこと」など、先生の**気持ちが動いた時の様子が伝わる記述や、その場面の子どもの様子が目に浮かぶような記述（※エピソード記述）**は、先生の温かみを感じ、何度も読み返したくなったものです。

限られた時間の中で把握もしながら記入するのは、頭の回転と指先の回転が必要です。連絡帳に割く時間があったら、子どもたちと関わる時間に使った方がよいという意見もあります。ですから、その日したことに子どもたちがどう関わっていたのか、必ずしも紙面いっぱいを書く必要はないのですが、目に見える出来事や行動の陰に隠れている「ちょっとした気づきや発見」「心が動いたこと」をひとつこと添えることができればなあ、と思っています。

「できた」「できない」は目に見える事実の記録ですが、そこにたどり着く前の「**心の育ち**」の部分に目を向け、保護者や支援者間で共有することができたら、子どもたちの違う成長の側面が見えてくるのではないかと…と思うのでした。 (教育支援チーム まつしま)

※エピソード記述についてしっかり知りたい!という方には、少し難しいですがこんな本もあります。
『エピソード記述入門』『エピソード記述を読む』鯨岡俊 (東京大学出版会)
『関係の中で人は生きる』鯨岡俊 (ミネルヴァ書房)

※保育関係が中心になりますが、『エピソード記述』で検索すると、具体的な記述例が出ています。

夏の公開講座「障害のある子の住まいの工夫」より

この夏も多くの方々（123名）にご参加いただきました。オンデマンドでの参加も半数近くを占め、会場に来られない方にも多数ご参加をいただき、ありがとうございました。

住環境の困りごととして「台所に入ってしまう」「無断外出」「音の問題」が多くあげられるとのことでしたが、環境を変える前に学校や療育センター、計画相談などの支援機関への相談もお勧めとのことでした。

鍵の種類など具体的事例
が見られてよかった

最新の機器を実際に
体験できてよかった

新たな視点での支援
を学べた気がする

指導や教材以外のこんな
研修がもっとあるとよい



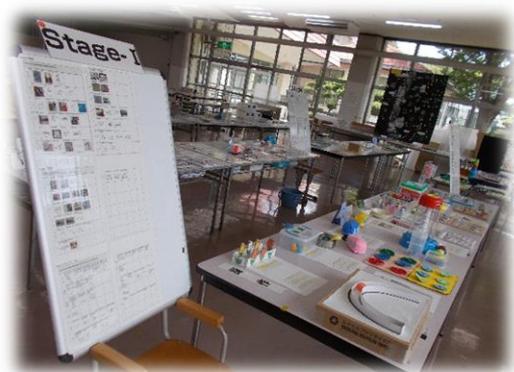
「夏季教材教具展示会＆相談会」より

* 「数学や数」に関する教材についての意見が多くみられました。

* 日頃悩んだり、困ったりしていることとして、

「適切な課題設定」「ステップアップのさせ方」「教材として形にさせる方法」

「短時間で作る方法」などが共通してあげられました。



教材教具展示室は瀬谷支援学校の管理棟に常設されています。夏季・冬季の教材教具展・相談会の他に随時教材教具展示室の見学と教材教具についての相談（教員向け）を承っております。

下記電話番号にお申し込みください。

教材教具展示室見学・相談 045-302-5374（連携支援室直通）

また瀬谷養護学校教材教具集はホームページより閲覧できます。

